令和７年６月４日

報 道 発 表

浜松市　産業部
スタートアップ推進課
℡：053-457-2825

浜松市

「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市（広域都市圏型）」へ選定されました

本市は、中部圏の持続的な成長のため、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市等と連携し「Central Japan Startup Ecosystem Consortium（以下、「当コンソーシアム」という。）」を組成し、令和２年に内閣府よりスタートアップ・エコシステム拠点都市の「グローバル拠点都市」に選定されています。

この度、新たに岐阜県、三重県、静岡県を加えた当コンソーシアムが、内閣府の「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市　グローバル拠点都市（広域都市圏型）」として選定されましたのでお知らせします。

１「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市」の概要

内閣府が、「スタートアップ・エコシステム拠点都市」をグローバル水準まで引き上げることを目的に、新たな拠点形成計画について選定を行い、国による必要な支援などを図るもの。

選定結果は、以下の通り。

（１）グローバル拠点都市：８か所

ア　広域都市圏型（複数都市の量的なポテンシャルを集積・発揮し、多層的な産学官金で構成するエコシステム）

：Central Japan Startup Ecosystem Consortium（当コンソーシアム）、
仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム、
スタートアップ・エコシステム　東京コンソーシアム、
大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム　の４か所

イ　中核都市型（核となる都市の特異なポテンシャルを発揮し、多様な産学官金で構成するエコシステム）

：札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会、
広島地域イノベーション戦略推進会議、
北九州市スタートアップエコシステムコンソーシアム、
福岡 RAMEN TECH コンソーシアム　の４か所

（２）NEXT グローバル拠点都市（地域の尖った産業構造やリソースを活かして、地域経済を活性化しながら海外エコシステムにも繋がるエコシステム）

：北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム、
REGIONAL NEXUS HUB ～NAGANO・NIIGATA～、
瀬戸内コンソーシアム、
くまもと版スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、
おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム　の５か所

２　当コンソーシアムの拠点形成計画について

(1) 計画主体

①名　　称：Central Japan Startup Ecosystem Consortium

②代 表 者：一般社団法人中部経済連合会　会長　水野　明久

③構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県をはじめ 327 企業・団体・大学等

(2) ビジョン

「世界における最先端のものづくりイノベーションの中心地」

ものづくり技術や生産ノウハウなどを世界のスタートアップの革新的な技術やビジネスモデルと融合させ、イノベーションをリードするグローバルな拠点に。

(3) 取組の特徴

「ものづくり産業の世界的な集積地である Central Japan の競争力で世界への道を拓く」

- 中部圏全域の広域な産業界、大学、行政による多層的かつ強力なエコシステム
- 世界的なものづくり産業の集積地という強みを活かした事業戦略やブランディング
- 中部圏の産学官金が持つ世界各国との広域ネットワークを活かした事業展開
- グローバル企業の産業集積を生かしたオープンイノベーションの推進
- 小学生から大学生、社会人まで成長段階に応じた多様なプログラムによる人材育成

※具体的な内容については別紙をご参照ください。

(4) ALL CENTRAL による体制強化

第１期の中心メンバーであった中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市に加え、新たに岐阜県、三重県、静岡県が参画することで、中部４県の産学官金が広く連携するとともに、域内のアセットを最大限活用し、広域なネットワークハブを形成します。

３　選定後の国等の支援について

スタートアップ・エコシステム　グローバル拠点都市に選定されたことにより、以下のような集中支援を受けることができる。

(1) 拠点都市での支援実績のあるスタートアップ等に対する加点措置
【内　閣　府】・グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラム
(2) 拠点都市域内の各ステークホルダーに対する支援
【内　閣　府】・拠点都市海外連携機能強化プログラム
【文部科学省】・大学発新産業創出プログラム（START）大学・エコシステム推進型
-スタートアップ・エコシステム形成支援
・大学発新産業創出基金事業
-スタートアップ・エコシステム共創プログラム
【経済産業省】・地域大学のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業

４　選定を受けた当コンソーシアム関係者によるコメント

浜松市長　中野　祐介

この度、本市を含むCentral Japan Startup Ecosystem Consortiumが「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」の第２期の選定を受けたことを、大変喜ばしく思います。

本市は、輸送用機器や楽器など、グローバルに活躍する企業が創業したまちであり、まずはなんでもやってみよう、新しいことに果敢にチャレンジしよう、という「やらまいか精神」が深く根付いています。

この「やらまいか精神」のもと、ものづくり企業の集積地である当地域の産業と、スタートアップの革新的なアイデアとのオープンイノベーションを強力に進めるほか、次世代を担うイノベーション人材を育成するためのアントレプレナーシップ教育の充実などにも力を入れてまいります。

引き続き中部圏全域で、それぞれの強みを活かした取り組みを、より一層強固な連携のもと展開し、世界に伍するスタートアップ・エコシステムの形成を目指してまいります。

一般社団法人中部経済連合会　会長　水野　明久

当コンソーシアムが、内閣府の「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市（広域都市圏型）」に選定されたことを大変喜ばしく思います。今回、岐阜県、三重県、静岡県が仲間に加わったことは、中部圏全体に「イノベーションのうねり」を起こす上で弾みをつける「新たな一歩」であると考えています。

第１期の選定を受けて、当地には多くのスタートアップが生まれ、挑戦を続けているほか、本年２月にグローバルイベント「TechGALA Japan」が初開催されるなど、イノベーション創出に向けた土壌が整いつつあります。

第２期計画の推進にあたっては、より広域的なエリアで裾野を拡大していくとともに、ものづくり産業の世界的な集積地であるCentral Japanの求心力を通じて、当地が国内外から多様なスタートアップが集まるネットワークハブとなることを目指します。

国立大学法人東海国立大学機構　機構長　松尾　清一

中部圏の産業界、行政、大学で構成する『Central Japan Startup Ecosystem Consortium』がこの度「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市」の「広域都市圏型」に選定されました。第２期では、第１期より広域化を図り、中部４県に拡大して連携していくこととなりました。

大学連合では既に中部４県の27大学２機関が一体となって、アントレプレナーシップ教育と研究シーズの事業化支援を進める『Tongali』を推進しております。本学は、中部圏の大学連合を主導し、更なるイノベーション人材の教育・育成、ディープテックを活かしたスタートアップの創出を強力に進めていきます。

中部圏内外の産学官連携を推し進め、「世界における最先端のものづくりイノベーションの中心地」として、スタートアップが集まってくる地域となることを目指して参ります。今後とも格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛知県知事　大村　秀章

世界における最先端のモノづくりイノベーションの中心地である中部圏の Central Japan Startup Ecosystem Consortium が、第２期スタートアップ・エコシステム　グローバル拠点都市「広域都市圏型」に選定され、大変嬉しく思います。

中部圏の主力である自動車産業を始め、当地域が競争力を引き続き維持・強化していくためには、革新的ビジネスモデルや最先端技術を持つスタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出が不可欠です。

昨年10月に本県において開業した日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」には、現在800を超えるスタートアップと事業会社、大学、金融機関を始めとしたパートナー企業が会員となっています。この「STATION Ai」を中核に、スタートアップの創出・育成・展開を図り、国内外から優れたスタートアップや優秀な人材をこの地域に呼び込み、地域のモノづくり企業との連携・融合を推進します。

Central Japan Startup Ecosystem Consortium の地域が一丸となって、世界に類例のない国際的なイノベーション創出の拠点形成を目指してまいります。

名古屋市長　広沢　一郎

2020年に組成されて以来、当地域のスタートアップ・エコシステムの形成に大きな役割を果たしてきた Central Japan Startup Ecosystem Consortium が、この度、第２期グローバル拠点都市に選定されたことを光栄に思います。

第２期ではコンソーシアムの枠組みが中部圏全域に広がることで、ものづくり産業の集積を活かした世界的に発信力のある取組みを進めてまいります。

名古屋市は中部圏の中枢都市として、コンソーシアムの事務局を担うとともに、スタートアップと事業会社との共創や社会実証の促進、若い世代からの人材育成等に取り組むことで、スタートアップが生まれ、成長できる環境をより一層構築していきます。

中部圏の産学官金が強固に連携することで、世界で活躍するスタートアップが集積する唯一無二のエコシステムの形成を目指していきます。

岐阜県知事　江崎　禎英

この度、ものづくり産業の世界的な集積地である中部圏が、第１期に引き続き「スタートアップ・エコシステム　グローバル拠点都市」に選定され、岐阜県も新たに参画して中部圏の取組みの一翼を担えることを大変光栄に思います。

本県では、スタートアップの創出・成長を、金融機関、大学、商工団体、行政などが一体となって後押しするため、令和５年６月に「ぎふスタートアップ支援コンソーシアム」を立ち上げ、関係機関のネットワーク強化、資金調達支援、県内企業とのオープンイノベーション促進といった地域を挙げたエコシステム形成の取組みを進めており、県内スタートアップが海外をフィールドに事業拡大するなどのグローバルな活躍の好事例も生まれています。

本県としましても、中部圏での連携をさらに深め、優れたものづくり技術や研究開発力といった強みを活かして、世界に誇れるスタートアップ・エコシステムの形成に貢献してまいります。

三重県知事　一見　勝之

この度、三重県が第２期スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市（広域都市圏型）に選定されたCentral Japan Startup Ecosystem Consortium（中部圏）に参画できたことを大変光栄に思います。

本県では、地域資源を活用したスタートアップの成長段階に応じた支援に取り組むとともに、三重県全体で取り組む産学官金の「みえスタートアップ支援プラットフォーム」を設立し、イノベーション促進に関する学びの機会や多様な人材の交流機会を提供するイベントの開催等、更なる支援の充実に取り組んでまいりました。今回の参画を契機に、より広域でのスタートアップの創出・成長及びイノベーションの創出を加速することができると期待しております。

今後本県は、中部圏を含め全国の拠点都市と連携したネットワークを通して、オープンイノベーションの促進と起業家マインドの機運醸成を図りながら、国内外を問わず多様なスタートアップが集まるネットワークハブの形成に貢献してまいります。

静岡県知事　鈴木　康友

「第２期スタートアップ・エコシステム　グローバル拠点都市」に静岡県を含む中部圏域が選定されたことを大変光栄に思います。

人口減少が進む中でも、未来に向けて本県経済を牽引する産業を創出するため、静岡県では、スタートアップ支援や企業誘致等の産業施策を重点的に推進しております。

世界的に見ても、スタートアップが集積する都市は、ほぼ例外なく経済成長を遂げています。これは、スタートアップが既存の産業に革新をもたらす存在であると同時に、社会課題の解決や多様な人材の交流による地域活性化に一役買っているからであります。

今回の選定を契機として、ものづくり産業をはじめとする中部圏域の特色やポテンシャルを最大限活用し、国内外からスタートアップが集積するとともに、世界を舞台に活躍するスタートアップがこの地域から次々と生まれる、世界に伍するエコシステムの形成を目指して、県境を越えた連携の取組を一層推進してまいります。